

夏まつりに向けひまわり・とうもろこしの種まきが行われました 🌻



5月下旬から6月下旬にかけて、今年も夏祭りに向け「花のある吉和づくり実行委員会」の皆さんにより、ひまわりととうもろこしの植え付けが行われました。種まきや手作業で丁寧に植えられたひまわりととうもろこしは、順調に生育しています。6月下旬には吉和保育園の園児にもひまわりの苗植えを手伝っていただき、無事に作業を終えることができました。また、除草作業や

管理も進められており、夏まつりに向けた準備が着々と進んでいます。今後もひまわりととうもろこしの成長の様子を、吉和ふれあい交流センターのInstagramやホームページでお知らせしていきます。

8月11日(火)開催予定の吉和夏まつりでは、ひまわりの摘み取りやとうもろこしのもぎ取り体験も予定しています。満開のひまわり畑とともに、ぜひ吉和の夏をお楽しみください。

鮎の友釣りが解禁 🐟

6月21日(日)午前5時から吉和川で鮎の友釣り・竿釣りが解禁となりました。今年の解禁日は曇り時々雨のあいにくの天候となりましたが、早朝から多くの釣り人が川を訪れ、待ちに



待った鮎釣りを楽しんでおられました。

これから本格的な鮎釣りシーズンを迎えます。雨天時は急な増水などの危険もありますので、天候や川の状況を十分注意しながら、安全に釣りをお楽しみください。遊漁の際には、遊漁券の購入が必要です。また、遊漁券は見やすい位置に着用し、ごみは必ず持ち帰るなどマナーを守りましょう。

また、7月18日(土)に【吉和川鮎釣り親睦会】が開催されます。申込期間は6月16日(火)～7月3日(金)です。夏の吉和の自然を満喫しながら、鮎釣りを楽しんでみませんか？

また、7月18日(土)に【吉和川鮎釣り親睦会】が開催されます。申込期間は6月16日(火)～7月3日(金)です。夏の吉和の自然を満喫しながら、鮎釣りを楽しんでみませんか？

ご不明な点は吉和川漁業協同組合までお問い合わせください。TEL:0829-77-2911

夏休みが始まります 🍉

7月18日(土)から吉和学園では夏休みが始まります。海や川、プールなど楽しみな予定がたくさんあることと思います。一方で、夏は水の事故や熱中症などに注意が必要な季節でもあります。川や危険な場所へは子どもだけで行かないこと。こまめな水分補給や休憩を心がける。など安全に気を付けて過ごしましょう。

ルールやマナーを守り、思い出いっぱいの楽しい夏休みをお過ごしください(^^)

熱中症を防ぎましょう！

だんだんと真夏日を各地で記録する日が増えており、本格的な夏がやってきたようです。「熱中症」とは、高温な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもることによって様々な症状がみられる状態を指します。

屋外だけでなく室内で何もしていない時でも発症し、場合によっては死亡することもあります。熱中症を防ぐためには、場所に応じた適切な対策をとることが重要です。

熱中症にならないために予防の行動

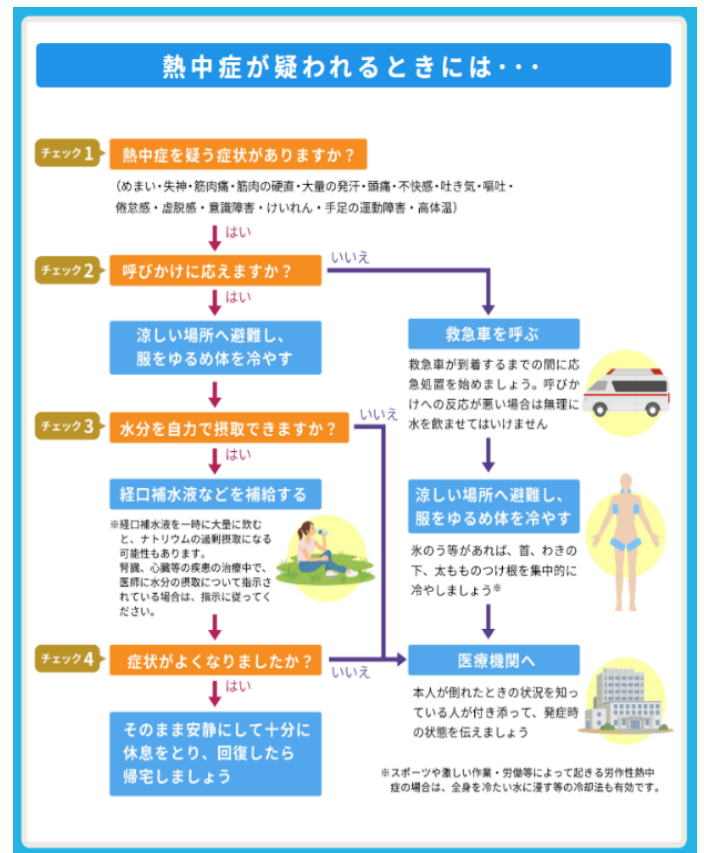
屋内では、エアコン等で温度を調節や遮光カーテン、すだれを利用、室温をこまめに確認しましょう。

屋外では、日傘や帽子的着用や日陰の利用やこまめな休憩、天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える。また、からだの蓄熱を避けるために通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用し、保冷剤・氷・冷たいタオルなどで、からだを冷やすなど、室内でも屋外でも、のどの渴きを感じなくても、こまめに水分を補給することが大切です。

こどもは体温の調節機能が十分に発達していないので、気を配る必要があります。熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能や体の調整機能も低下しているため、注意が必要です。

熱中症が疑われる人を見かけたら

熱中症が疑われる症状例は、めまい、立ちくらみ、生あくび、大量の発汗、筋肉痛、筋肉のこむら返りなどです。このような症状を見かけたらエアコンが効いている涼しい室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させる。また、衣服を緩め、からだを冷やし(特に、首の周り、脇の下、足の付け根など)、経口補水液などを補給しましょう。自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！こまめな水分補給と適度な休憩を心がけ、熱中症に十分注意して元気に夏を乗り切りましょう。また、吉和ふれあい交流センターはクールスポットとして開放しています。暑さを感じた時や外出中の休憩に、お気軽にお立ち寄りください。



吉和の人口(令和8年6月1日)現在				
	総人口	男性	女性	世帯数
	514	254	260	293
先月比	-4	-1	-3	-2